

# 大阪損保革新懇ニユース

NO. 97  
2008. 10. 31

大阪損保革新懇事務局  
大阪市中央区道修町三の三の十  
大阪屋道修町ビル3F. 06663311095

大阪損保革新懇 結成十周年・第十一年次総会盛會 二〇〇九年度活動開始

記念講演 品川正治氏

## 『世界史は変わり始めている』

結成十周年記念・第十一年次総会は、十月十五日（水）本町商工会館において一四九名の参加で成功しました。開会挨拶で野村英隆代表世話人は、今日の情勢は、「国民が主人公」の新しい政治経済路線の歴史的転換を求めており、いよいよ革新懇の出番がやってきた。会員を増やし、質量にわたる活動を強化しようといびかけました。

品川正治さんが、「世界史は変わり始めている」と題して記念講演。大阪損保革新懇との関わりを述べた後、自らの戦争体験にもとづいて「戦争・人間・そして憲法9条」を座標軸として全国を講演しているが、その柱は人間であり、戦争を人間の目で見ることが私の最大の課題であると熱く語りました。そして「主権は国民にあり、国民投票で改憲NOとなれば、アメリカの世界戦略は変わり世界史も変わる。みなさんがその立場で奮闘を」といびかけました。（講演要旨別掲）

その後、松浦章さん（大阪損保革新懇世話人・兵庫県立大学大学院）が「損保産業の社会的役割を考えよう」と報告。次に、石村茂さん（大阪労働共済・専務理事）が「改正保険法のもとでも共済を守り役割発揮を」と報告。（次号掲載）「十年間の活動に確信持ち、「国民が主人公」時代をつくりあげよう」のアピールや活動報告・財政報告・世話人選出などを満場の拍手で採択しました。

二次会には八二名が参加し講師の品川正治さん、松浦章さん、石村茂さんを囲んで楽しく交流を深めました。

### 講演要旨別掲

## 憲法9条を持っている日本が

## 人間の目で見えた経済をすすめること

大阪損保革新懇は、私にとって思い出深く活動の皮切りとなったところです。しっかりとした目標をもって運動をすすめておられることを知り喜びにたえません。

今日で五回目の講演となりますが、私は現在八四歳で、大日本帝国憲法と日本国憲法と「一身にして二生」を生きてきました。

私は大阪損保革新懇で話をするまで自らの戦争体験は語らなかつた。その理由は「なぜ私だけ生き残ったのか」というトラウマにとらわれて

いたからです。六〇数年が経過し、戦争体験者がどんどんこの世を去りました。みなさんのお誘いから決意したのですが、国際開発センターで仕事をしている現役の財界人であるということもあって、全国で講演を行うこととなりました。

「戦争・人間・憲法9条」ということを座標軸として語っていますが、その柱は「人間」です。戦争をおこすのも人間なら、止める努力をするのも人間であると確信しているからです。今の時代、誰が日本を戦争できる国にしようとしているのか、誰がそれを止めようとするのかということとです。

この憲法をなぜ今変えようとするのか。経済同友会の副代表幹事、専務理事の時、小沢一郎さんに、「あなたの考えはおかしい」と何度も話をしました。戦争というのは国家の目で見がちです。国連といえども同じです。第二次大戦後、三一〇万人の日本人、二〇〇〇万人以上のアジア人を殺害し、広島、長崎で一瞬にして多くの生命を失った教訓から、二度と戦争をすべきでないと、人間の目で見えた憲法が作られました。日本は憲法9条で、一切の常備軍をもたないと、世界で唯一戦争放棄を宣言している国です。9条の旗はポロポロだが国民は旗竿を決して放してはいません。



講演する品川正治さん（10/15府商工会館）

# 大阪損保革新懇10年の歩み

(第11回総会アピールから抜粋)

## 【総会 講師と演題】

- 第1回 総会 大阪革新懇代表世話人小西和人氏 『母なる大阪湾を守ろう』
- 第2回 総会 品川正治氏 『21世紀の経済社会と損害保険業の新しい進路』
- 第3回 総会 宗藤泰而氏 (弁護士) 『21世紀・人間らしくどう生きるか』
- 第4回 総会 中崎章夫氏 (保険ジャーナリスト) 『どうなる どうする損害保険産業』
- 第5回 総会 大谷昭宏氏 (ジャーナリスト) 『あらためて大企業の社会的責任を問う』
- 第6回 総会 品川正治氏 『平和憲法を考える』
- 第7回 総会 斉藤貴男氏 (ジャーナリスト) 『平和と平等をあきらめない』
- 第8回 総会 二宮厚美氏 (神戸大学教授) 『「バターか大砲か」の選択と憲法の危機』
- 第9回 総会 石川康宏氏 (神戸女学院大学教授) 『! 憲法・教育基本法改悪を許さない!』
- 第10回 総会 牛久保秀樹氏 (弁護士) 『ディーセントワーク・人間らしい働き方を求めて』

## 【主な活動】

### ブックレット

『どうなる どうする 損保の未来』 刊行と7000部全国普及活動	2000年3月
『私たちも憲法改悪に反対します』 刊行と7000部全国普及活動	2006年7月

### シンポジウム

『今、損保の職場はどうなっているか』 開催と報告活動	2001年4月
『保険と共済の社会的役割を考える』 開催と報告活動 (実行委員会主催)	2008年4月

### 広島平和ツアー

- 第1回2001年8月 第2回2004年8月
- 第3回 宮島損保平和集会 2005年8月 全国から150名
- 品川正治氏講演 『21世紀の世界平和を広島で考える』

### ゼミナール

- 大企業の社会的責任と働くルール 5回 (講師: 森岡孝二氏) 2003年11月~04年4月
- 憲法改悪反対署名 6600筆達成、全国革新懇を通じ国会へ提出 2005年9月
- 講演・学習会 (演題略) 長野晃氏・川田悦子氏・小林康二氏・桂三風氏・宇田川義人氏・林直道氏・坂井希氏・押尾直志氏・長岡麻寿恵氏・下司上氏・西谷文和氏・木藤なおゆき氏・櫻田照雄氏・一宮美成氏・松浦昭氏・北出祥夫氏・松浦章氏など

### 諸闘争参加と支援

全面勝利解決	朝日火災不当労働行為闘争
	日本興亜田崎博美さんパワハラ闘争
現在支援闘争中	東海日動外勤制度と雇用を守る闘争 高田橋洋一さんパワハラ闘争

### ホームページ

結成以降の全ての活動検索可能	2002年4月~
大阪損保革新懇ニュース 第1号~96号発行	1998年10月~

この10年、積み重ねてきたさまざまな活動にみんなで確信を共有したいと思います。結成当時は唯一でしたが、現在全国の損保革新懇は7組織、損保9条の会も7組織、計14の闘争仲間への発展も喜びたいと思います。今年も日本興亜田崎博美さんのパワハラ闘争を闘い、和解と職場復帰を勝ち取りました。4月にはシンポジウム『保険と共済の社会的役割を考える』を成功させ、『世界9条会議イン関西』にも多くの仲間が参加しました。東海日動のたたかい、高田橋洋一さんのたたかいも引き続き取り組んでいます。

## 講演会シリーズ 第18弾 損保産業の「社会的役割」を

### ともに考えよう!

総会での報告はダイジェスト的でしたのでたっぷり講演します。多くの仲間の参加をお待ちします。

講師 松浦章さん  
(大阪損保革新懇世話人 兵庫県立大学大学院)

日時 十一月十一日(火)午後七時  
場所 アイクルの部屋(大阪道修町ビル三階)  
参加費 五〇〇円(引き続き懇親会は参加費一五〇〇円  
ビール、お酒、食事用意)

この状況を変えるのは不可能と考えられる方が多いかもしれませんが、主権は国民にあります。改憲の国民投票でNOとつきつければ日本は変わらざるをえなくなり、アメリカの世界戦略も変わります。今や国民一人一人の出番です。教育、医療、福祉、環境、農業などは人間の努力によるものです。市場にまかせせるものではありません。人間の目で見つめた経済をどう実現するかを大阪損保革新懇の基本的な姿勢として、運動していただくことを期待します。

(文責 事務局)

◎\*◎\*◎\*◎\*◎\*◎\*◎\*◎\*◎\*◎\*◎\*◎\*◎\*

## 第四回(次回) 高田橋裁判は

### 十二月十七日(水) 十時から

東海日動パートナース大阪と副田社長を相手どってのパワハラによる高田橋洋一さんの第三回裁判は、十月二二日に開催され双方の弁護士による準備書面の協議が行われ、40名の傍聴者が見守りました。

会社は就業規則を楯に「休職期間満了」として八月九日付けで解雇してきました。高田橋さんは、九月二九日に業務上の休業であるから「労働契約上の権利を有する地位にあることの確認」を求め訴えを追加しました。

次回は十二月十七日(水)午前十時から八階です。多くのおみなさんの傍聴をおねがいします。報告集会は午後六時半からアイクル会議室で行います。